# 11 月の学校の様子

## 地域が育む「かごしまの教育」県民週間

11 月 1 日（木）～７日（水）は，県下一斉に学校の教育活動を参観していただく週でした。本校でも，この期間「３年生と地域の高齢者との交流活動」や「ふれあい給食」，「学習発表会」，「１・２年生のお祭り」といろいろな行事が実施されました。

たくさんの方が来校されて子どもたちの様子を見てくださいました。ありがとうございました。来年は，行事だけでなく，授業の様子も見ていただけると幸いです。

**＜３年生と地域の高齢者との交流活動・ふれあい給食＞**

**＜学習発表会＞**

**１・２年生**
- 合奏
- リズム遊び

**３年生**
- 理科クイズ
- 英語劇「はらぺこあおむし」

**４年生**
- 暗唱
- 総合劇「戸口リュウキュウアユ物語」

**６年生**
- 暗唱，合奏
- 国語劇「注文の多い料理店」

**＜1・2 年生生活科「お祭り」＞**

10月22日、南海日日新聞の「若いまなざし」欄に、二年生の川田京眞さんの作文が掲載されました。おめでとうございます。12月は「人権週間」です。みんなを大切に思える人間になりたいですね。

**みんながもっているたからもの**

川田　けいま

ぼくは夏やすみに「みんながもっているたからもの」という本を読みました。この本のだい名を見たとき、みんなのたからものって、なんだろうと考えました。きっとぼくとおなじように、おもちゃとかじゃないのかなと思いました。

この本は、みんながわすれているだいじなことを教えてくれました。手があること、目が見えること、口でおしゃべりできること、はなでにおいがわかること。

色や形がちがっても、みんながもっているものです。でも、世の中には、そうじゃない人もいるので、体のぜんぶがあることや、したいことがぜんぶできることは、当たり前じゃありません。

1年生だったとき、ぼくの友だちのこう大さんが、手をけがしました。こっせつでした。体育のときも見学していましたが、なんだかさびしそうでした。けがをしたこう大さんは、いつものこう大さんじゃないように見えました。「けがをすると、いつも当たり前にできていたことができなくなってかなしくなるんだな」と思いました。

だから、ぼくは、今のぼくや今の友だちを、今、大切にしたいです。

（龍郷町、戸口小2年）

子どもたちの学校での様子を，学校ホームページで紹介しています。http://www.town.tatsugo.lg.jp/school_portal/toguchi/　※戸口小学校で検索されても見つかります。